

任期付職員の業績等一覧

	所 属	職 名	職 種	任 期	種 別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【 H23.4.1～H24.3.31までの実績】	問合せ先
1	市民スポーツ文化局 スポーツ文化部 大宮盆栽美術館	主任(1名)・・・ [H23.12.31退職] 主事(2名)	学芸員	H21.12.1～H24.11.30 (3年)	一般任期付職員	<p>【職務内容】 盆栽文化に関する資料の収集、保管及び展示等、学芸業務。</p> <p>【期待業績】 調査・研究並びにその成果を公開することにより、盆栽文化を国内外に発信する。</p>	盆栽文化を発信する美術館としてふさわしい展示や資料収集などを行った。 また、調査・研究の成果は、企画展、特別展をはじめ講演会やギャラリートークなどに反映され、盆栽文化を国内外に発信することができた。	大宮盆栽美術館 780-2092
2	市民スポーツ文化局 スポーツ文化部 大宮盆栽美術館	技師(3名)	技師(盆栽)	H21.12.1～H24.11.30 (3年)	一般任期付職員	<p>【職務内容】 盆栽に関する専門的知識及び技能をもとにした、当館所蔵盆栽の育成管理業務。</p> <p>【期待業績】 盆栽の適切な管理を継続するとともに、ワークショップ等を通して盆栽文化を国内外に発信する。</p>	盆栽に関する専門的知識及び技能により、常時適切な盆栽の育成管理を行った。 また、来館者に対する盆栽の基礎知識や育て方の解説、ワークショップ等を通じて盆栽文化を国内外に発信することができた。	大宮盆栽美術館 780-2092
3	行財政改革推進本部	副理事 (無駄ゼロ改革チーム 担当) [H24.3.31退職]	一般事務	H22.1.1～H24.12.31 (3年)	特定任期付職員	<p>【職務内容】 歳入・歳出を含めた全ての事務事業の見直し 新たな行財政評価システムの構築 職員の意識改革 ボランティア活動支援の仕組み作りの推進 本庁舎駐車場の有料開放化等の歳入確保策の推進</p> <p>【期待業績】 既存事業について聖域なく見直しを進め徹底的に無駄を排除するとともに、継続的に無駄が発生しにくい仕組みを構築する。 行政評価の更なる透明性と客観性を高めた新たな評価システムを構築する。 一職員一改善提案制度の活性化策を通じた職員意識改革の推進を図る。 市民との協働で推進する「新しい公共」を担うボランティア活動のあり方や支援の仕組みづくりを推進する。 庁舎管理課・区政推進室と本庁舎・大宮区役所・中央区役所駐車場の有料開放化についての実施方法等の検討を行う。</p>	<p>歳入・歳出を含めた全ての事務事業の見直し 民間視点からの徹底した無駄の排除を行い、平成24年度予算に反映した。 新たな行財政評価システムの構築 (H22に達成済) 職員の意識改革 ・民間企業の視点により、本務の質的・コスト的改善が進むこと、また、職員のモチベーションが高まることに重点を置き、一職員一改善提案制度の推進を通じて、職員モチベーションの高揚を進めた。 ・業務改善発表会「カイゼンさいたまッチ」を開催するとともに、自治体初となるニコニコ生放送による中継を実施した。 ・職員研修の講師を担当、民間企業におけるコスト意識、業務効率化の考え方を事例に、職員の意識改革研修を実施した。 ボランティア活動支援の仕組み作りの推進 ・市民活動支援室と連携しボランティア活動の支援・推進連絡会議を立ち上げ、庁内の情報共有を図った。 ・広くボランティア活動の募集やマッチングを行う市民ボランティア支援システム(土チャレをモデルとして)の構築を進めた。 本庁舎駐車場の有料開放化等の歳入確保策の推進 ・各庁舎の耐震・建替問題のため、有料化実施は困難な状況となったが、有料開放が事業として成り立つか、民間駐車場事業者を交えて、その可能性について民間視点で検討を行った。</p>	行財政改革推進本部 829-1108

任期付職員の業績等一覧

	所 属	職 名	職 種	任 期	種 別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【 H23.4.1～H24.3.31までの実績】	問合せ先
4	行財政改革推進本部	副理事(行政改革チーム担当)兼 政策局都市経営戦略室副理事	一般事務	H22.2.1～H25.1.31 (3年)	特定任期付職員	<p>【職務内容】 新たな行財政改革推進プランの策定・進捗管理 公共施設マネジメント計画の策定 行政の仕組みが市民に伝わりやすい仕組みづくり、職員の意識改革 「しあわせ倍増プラン2009」のマネジメントサイクルの確立</p> <p>【期待業績】 平成22年秋を目途に、新たな行財政改革推進プランを策定し、平成23年度の進捗管理を経て、平成24年度に見直しの検討を行う。 平成23年度末を目処に、公共施設等の効率的な管理運営を推進するための方針である公共施設マネジメント計画を策定し、平成24年度に進行管理を行う。 透明性確保の観点から、情報公開を徹底するだけでなく、改革の成果・取組みなど行政の仕組みそのものが市民に伝わりやすい仕組みを構築する。また、自律的・持続的に職員が主体となって取組む意識改革の実現を図る。 「しあわせ倍増プラン2009」の実績評価、検証及び市民参加の検証大会を行い、同プランのマネジメントサイクルを検討、確立する。</p>	<p>新たな行財政改革推進プランの策定・進捗管理 ・「さいたま市行財政改革推進プラン2010」を平成22年12月に策定。(H22に達成済) ・年度ごとに予算・中間・決算時に進捗状況をチェックする進捗管理台帳を作成した。 ・平成22年度の実績について、所管部局による内部評価を実施した上で、主な事業を「行財政改革公開審議」で取り上げ、有識者会議委員及び行財政改革市民モニターから意見を聴取する外部評価を実施した。 ・これらの実績・評価を「行財政計画白書」として取りまとめ、10月に公表した。 公共施設マネジメント計画の策定 ・公共施設マネジメント会議を運営し、平成23年5月に平成22年度中間報告を取りまとめ、公表した。さらに、都市関連施設及び企業会計施設の実態把握を行い、公共施設マネジメント計画[方針編](素案)を取りまとめ、パブリックコメントを実施した。 ・「さいたま方式」の公共施設マネジメントとして、全国からの注目を集めつつある。 行政の仕組みが市民に伝わりやすい仕組みづくり、職員の意識改革 ・「行財政改革公開審議」を実施・運営するとともに、行財政改革や公共施設マネジメントを「出前講座」のメニューに入れ、行財政改革白書のリーフレットを作成した。 ・職員が主体となって取組む意識改革の実現を図るため、平成23年度は、「月イチ改善」や「仕事時間ダイエットプラン」の策定を行った。 ・職員研修の講師を担当、実際の職員意識調査の結果を用い、職員満足度を高めるための政策提言を実施した。 「しあわせ倍増プラン2009」のマネジメントサイクルの確立 市民参加型のマネジメントのサイクルを確立するため、内部評価・外部評価の仕組みを構築。平成23年度は、評価作業を前倒し、市民評価委員会・報告会を開催した。</p>	行財政改革推進本部 829-1108

任期付職員の業績等一覧

	所 属	職 名	職 種	任 期	種 別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【 H23.4.1～H24.3.31までの実績】	問合せ先
5	市長公室	副理事	一般事務	H22.3.1～H25.2.28	一般任期付職員	<p>【職務内容】 広報・報道対応・広聴の事務事業の改善</p> <p>【期待業績】 (1)さいたま市の広報(情報提供)マスタープランの策定及びその実践指導 (2)さいたま市のイメージアップにつながる情報の発信に関する技術的な指導・助言 (3)さいたま市のパブリシティの向上に関する技術的な指導・助言</p>	<p>(1)「広報(情報提供)マスタープラン」は平成22年度末に「PRマスタープラン」として策定され、平成23年度が計画初年度となった。当該プランに基づき、市広報の主たる媒体である市報と公式ホームページが大幅にリニューアルされ、情報伝達力の強化と市のイメージアップに大きく寄与した。映像ライブラリー、ニュースレター、グリーティングカード、広報課ブログなどの事業を新たに加えた一方で、既存の媒体はすべて見直しを行い、中でも市勢要覧、テレビ広報番組、ガイドブック、ガイドマップなどは見た目も内容も一新した。さらに東日本大震災への対応として始まったツイッターも、平時の情報発信媒体として機能しており、これまで市の情報が届きにくかった層に対してもアクセスできるようになった。</p> <p>(2)市のイメージアップに関しては、「のびのびシティさいたま市」というイメージキャッチフレーズを、市民参加のプロセスを踏んで決定した。これによって、都市イメージの形成と確立を目指す全庁統一的な情報発信を行うことができるようになり、実際に上述のさまざまな媒体を通して「のびのびシティ」を発信している。</p> <p>(3)パブリシティの向上に関しては、年間パブリシティ件数が1,700件に達し目標値1,500件を超えた。パブリシティの質的向上に対しては、よりよいパブリシティの手引きとなる「ガイドブック」を新たに編集した。さらに市長記者会見の魅力化を図り、マスコミに注目される情報発信を目指した。</p>	広報監付 829-1017
6	経済局 経済部 産業展開推進課	副参事	一般事務	H22.4.1～H25.3.31	一般任期付職員	<p>【職務内容】 国際的展示会の出展を通じた企業のPR活動の企画立案。 研究開発型ものづくり企業の幅広い知見を背景に、独創性・革新性に優れた技術をもつ市内研究開発型企業を「さいたま市テクニカルブランド企業」として認証し、各種広報活動を実施するとともに技術開発・経営強化・人材育成支援等を実施。 地域活性化総合特別区域指定の申請。</p> <p>【期待業績】 産業全体の更なる活性化、イメージアップ。 企業の技術開発面における産学連携の実現。 低炭素型パーソナルモビリティの普及の実現。</p>	<p>これまで民間で習得した産業サイドに係る知識・実務・経験をもとに展示会における適切なアドバイスを提供した。(国際展示会「インターネブコンジャパン」、コラボさいたま、E-KIZUNAサミット・フォーラム)。展示会への出展の際、主催者側としてのノウハウや知見を活かすことで効率的な展示、広報活動を実施することができた。</p> <p>またテクニカルブランド企業を中心とした産学・産産連携を推進した。(モビリティと経済活性化研究会、ワールドカフェ等)</p> <p>さらには、地域活性化総合特区のうち、「低炭素パーソナルモビリティ」の普及について、産学との広範なネットワークを活かした提案を行い、内閣府から採択を受けることができた。</p>	産業展開推進課 829-1371

任期付職員の業績等一覧

	所 属	職 名	職 種	任 期	種 別	職務内容及び期待業績	期待業績達成状況 (事務事業の改善・効果等) 【 H23.4.1～H24.3.31までの実績】	問合せ先
7	経済局 観光政策部 観光政策課	副参事	一般事務	H22.4.1～H25.3.31	一般任期付職員	民間のノウハウを活用し、次の業務に取り組むとともに、市職員の育成、能力向上に寄与する。 ・旅行会社、交通事業者、ホテル等を対象とした観光プロモーション事業 ・観光商品の造成 ・その他観光客誘致に関する事業	・平成22年度から、根気強く誘致セールスを行ってきた「はとバス」が、初めてさいたま市に乗入れることに成功し、7月から11月にかけて12回のツアーが組まれた。参加者に好評だったことから、平成24年度以降も実施される予定となっている。 ・懸案であった広域観光の取り組みとして、川越市との連携を実現し、鉄道事業者とも連携しながら池袋駅、大宮駅及び川越駅において合同観光キャンペーンを実施した。平成24年度も継続実施の予定となっている。 ・市内ホテルに交渉し、各客室に観光パンフレットを配置することができた。現在、5つのホテルで実施しており、今後さらに増やすための働きかけを行っている。	観光政策課 829-1365